

誰ひとり取り残さない社会をめざして



©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

INDEX

ピックアップ

人生の終い支度

京都の町で「暮らす」
 そして、わたしらしく「生ききる」ために 4

ところつながる作品展 6
 京(今日)から始めるいきいき筋カトレーニング
 「いきいき筋トレ」ってなあに? 7

「認知症の人とともにできることを考えよう」
 メッセージボードについて 8



日常生活自立支援事業 生活支援員募集中! 9
 Let'sボランティア! ボランティア入門講座 9
 辰巳児童館の一押し事業 10
 新型コロナウイルス特例貸付の返済にお困りの方へ 11



～ 出会いの数だけ、
未来が生まれる！～

みやこ 京 こどもいばしょ フェス

〒600-8501 京都府京都市中京区錦町1-1-1 京都産業大学 学生ホール

出会いの数だけ、未来が生まれる！
多様なかたちの「子どもの居場所」

困っている家庭の子ども利用の場から、誰もが参加できる身近な場へ。「子どもの居場所」はいま、どんどん進化しています。そこで、どんな団体がどういった活動をしているのかを多くの人々に知ってもらえるイベントとして「京(みやこ)こどもいばしょフェス」を開催しました。



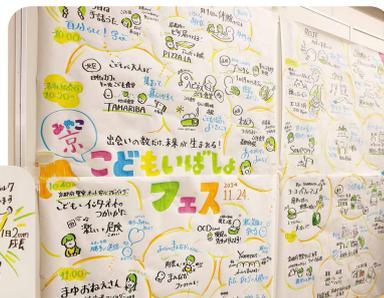
2024(令和6)年11月24日(日)、京都産業会館ホールにて、市内の活動者(子ども食堂・学習支援・その他)と応援企業、子育て世代を中心とした市民が出会い、交流するイベントとして開催しました。

「食べ物ブース」は、数多くの団体が手作り弁当やおにぎり、ワッフルなどのおやつを販売。「体験・遊びブース」には、積み木遊びや書道体験などのほか、相談ブースも設けました。ステージではNHK「おかあさんといっしょ」4代目身体表現のおねえさん・いとうまゆ氏が、人気のポケモン「ピカチュウ」と一緒に歌ったり踊ったり大盛り上がり!

約1500名に参加していただき、小さなお子さんからご高齢の方まで、素敵な笑顔が会場いっぱいにあふれていました。



ステージで発表される内容をその場で可視化するグラフィックレコーディング





和順子どもの学び場（北区）

子どもたちが安心して過ごせる学びの場を目指して、2024年6月にスタートしました。現在は書道を中心に指導しています。この機会に私たちの活動を広く知ってもらいたいと思っています。



OCD School（中京区）

集団生活に馴染めない、授業のペースについていけない子どもの学習支援を行っています。私たちの「縄文土器作り」は予想以上の盛況で、たくさんの笑顔に元気をもらいました！



PIZZA-LA（市域）

全国各地の子ども食堂に、私たち自慢のピザを無償で提供しています。ふだんはお届けするだけですが、今日は目の前でお召し上がりいただき、「おいしい!」の声まで聞けて大満足です。



あいあむ！（左京区）

小学生から大学生まで「ゆる〜くつながる」居場所になっています。「消しゴムはんこ作り」を出店しましたが、まわりにもユニークな体験ブースがあり、とても参考になりました。今後も子ども・若者の楽しい体験が出来る場所を作っていきたいと思ひます！



あまからこども食堂／ Aama.project 実行委員会 & こども食堂からふる（上京区）

ふだんからお寺と大学生の2つのグループが一緒になって活動しています。模擬店は今回が初めてでしたが、力を合わせて頑張ったことで、ますます絆が深まりました。



愛と里の会（西京区）

誰もが「ほっ」と安心する場をめざし、不登校のお子さんの支援などを行っています。このフェスで生まれた多くのつながりを大切に、継続・発展させていきたいと思っています。



ゆるくる実行委員会（伏見区）

プラレールなどのおもちゃと簡単な食事を用意して、子どもと保護者、高齢者の集いの場を設けています。今日は他団体の活動から多くのことを学び、今後の活動の励みにもなりました。

ポケモンが寄り添うことで、 子どもたちを笑顔にしたい

一般財団法人ポケモン・ウィズ・ユー財団

東日本大震災をきっかけに、子どもたちの支援をスタートしました。子ども食堂向けの支援として、ポケモン柄のエプロンやランチプレートなどを提供しています。今後もポケモンが寄り添うことで、子どもたちを笑顔にしていきたいと思っています。



来場者によるメッセージボード

「楽しいブースがいっぱい! いろんな活動を知りました」「地域で素敵な活動をありがとうございます。安心して参加できるのが嬉しいです」といった意見から「ステージで踊ったのが楽しかった」「たくさんあそべた!」といった、かわいい文字の感想もありました。

「子どもの居場所」を中心に広がる、 より良い地域づくりの輪

京都市内には「子どもの居場所」をつくる活動が広がっており、2024年9月現在で237か所に及びます。「京(みやこ)こどもいばしょフェス」には36の活動団体のほか、応援してくれる企業も参加。これまで「子どもの居場所」について詳しく知らなかった参加者の皆さんが、こうした支援の輪に触れることで関心を持ち、より良い地域づくりについて考えるきっかけとなったとお声いただきました。



人生の終い支度

京都の町で「暮らす」そして、わたしらしく「生ききる」ために

人は誰も老いていき、必ず死を迎えます。元気なうちに自分の意思を表明しておくことは、人生の最期まで大好きな地域で暮らし、自分らしく生ききるための支えとなり、残された方々の負担を軽くします。この講座は、そんな「人生の終い(しまい)支度」について具体的なイメージを持って考え、身近な親しい人たちと相談するきっかけとなるよう開催されました。

もしもの時に備えて話し合っていますか

宇都宮 宏子 氏

在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス 看護師



本人は知らないまま…

私が看護師になった頃の医療現場では、がんなどの深刻な病状や病名について、本人に告知しないことが一般的でした。そのため、病気になった本人に、これまでの人生で大切にしていたことや、これからの人生の希望を聞き取ることができずに、本人も遺された人たちも思いを伝えられないままに病院で亡くなるが多かったと思います。

訪問看護師として併走した暮らしを支える医療・ケア

病院に入院していると「守る対象である患者さん」として扱われますが、暮らしの場では「生活者・人生を生ききる人」として見られます。「もう、入院したくない!」と言った、入院を繰り返していた一人暮らしの方や、「自分ではなく妻を支えるために」と医療や介護のサービスを希望した末期がんの男性。その人らしい生活を支援する医療やケアは、本人を中心にチームで不安や揺れる思いにも伴走することができました。

闘う医療から治し支える医療へ

昔の医療は最期の時まで闘うことが求められていました。しかし、栄養状態や生活環境の改善、医学技術の進歩により、病気や老いとともに生きる時代になっています。病や老いに伴う障害があっても、それとともにその人らしく

暮らすことができるのです。住み慣れた場所で暮らし、生きること。そして、その暮らしの延長線上に看取りがあります。治し支える医療とともに暮らす中では、入院はあくまでも暮らしの中の通過点に過ぎません。

「こう生きたい」を伝える・共有する

これまでの人生という物語から紡がれる「こうありたい」という思い(これからの人生)。人生は人それぞれであり、思いも願いも人それぞれです。病気や老いとともに生きることへの自分の思いを伝えること、本人が伝えられない時には、それまでの本人の人生を振り返ることから、本人だったら、何を望むだろうと、考えてみます。本人の意思を推定します。

元気な時から考えよう・伝えよう

「こう生きたい」という思いや願いを病院等の空間では話しにくい人もいます。なじみのある日常の空間(暮らしの場)で考え、大切な人と繰り返し話し合い、身近な人やかかりつけ医、支援者などのチームで共有することが大切です。もしもの時に備えての、心づもり、でも心変わりしてもいい、心残りはしないように。考えてみませんか。そして話し合ってみませんか。

病院から暮らしの場へ

松井 久典 氏

京都第一赤十字病院
医療社会事業課 課長
社会福祉士・公認心理師



1960年代に「寝たきり」という言葉が非自立高齢者を表す概念として使われ始め、1975年には在宅死と病院死の人数が逆転しました。現代では多くの方が病院で亡くなっています。入院中は病人としての役割が求められますが、在宅療養では生活者はたまたま病気を持っているだけの住人(本人)です。現在の病院では、入院前から生活状況を把握し、入院中は担当者だけではなく様々な専門チームが一丸となって、人生を遮断せずスムーズに在宅移行できるよう支援しています。また、自宅退院だけではなく、様々な転院先や施設で過ごすという選択肢も、もちろんあります。元気なうちから自分の生き方を考え、話し合みましょう。真剣に考え、悩んだときには私たち専門家に気軽に相談してください。

心、身体、暮らしを支える -看護の繋ぐ役割

茶谷 妙子 氏

京都府看護協会
京都府訪問看護総合支援センター
訪問看護認定看護師



訪問看護では、本人とご家族の生活の場であるご自宅で、どのようにご本人から思いを聴き取り、一緒に揺れながら意思決定を支え、ご本人の意思実現支援につなげていくかを考えます。訪問看護で行う日常のケアの中で小さなきっかけを逃さず働きかけ、その方が考えを深めることを助けます。ご本人の言葉をできるだけ記録に残しておき、いざというときにチームで持ち寄れば、ご本人の思いを繋いでいくことが可能です。このほかにも訪問看護では、体調管理や日常生活を整えるお手伝いができます。お気軽にご相談・連絡をいただくと嬉しいです。

自宅で受けられる医療って!?

土井 たかし 氏

どいクリニック
理事長・院長



在宅療養を選ばれる理由は様々です。家族で旅行に行きたいと退院され、温泉旅行の9日後に亡くなられた方。尿道カテーテルや褥瘡(じょくそう)等処置が多い中、ルールに縛られない自宅での生活を希望された方。寂しがり屋のお母さまの自宅での療養希望を娘さん達が叶え看取りまで自宅で過ごされた方。また、自宅で好きなものを食べたいと希望された方。在宅酸素療法を利用しながら外来に通い、クルーズ船旅行を楽しまれた方もいます。100歳を超えても自宅で一人暮らしされ、腰痛治療後自宅での生活を望みつつ入院中に老衰で亡くなられた方もいました。

死は瞬間的なものではなく、生に続くものです。医学的な死は確かに存在しますが、身近な人が亡くなくても、その人との思いがこの世から消えてしまうわけではありません。「今」、身近な人々との関わりの中で生き続けていることを心に留めておきたいものです。

医療のために生きているのではなく、医療はあくまで生活の一部であり、人生を考える時に「生きて暮らす」視点を持つことは大切です。今は、工夫をすれば自宅でも病院と同等の医療行為が可能となっています。家に帰りたいという希望に応える手立てはあり、どんな状態でも家に帰れることをぜひ知っておいてください。



おわりに

「どのように最期を迎えたいか」は、人生をどう生きるかと同じ問いです。正解はなく、思いは人それぞれ。だからこそ、話し合みましょう。あなたの思いを語り、あなたの身近な親しい人の思いも聞いてみましょう。この講座がそのきっかけとなれば幸いです。

▶ 動画配信

受付メ切り 令和7年3月18日(火) 17時まで
配信期間 令和7年3月25日(火) 17時まで

人生の終い支度講座

検索 🔍

<https://sukoyaka.hitomachi-kyoto.jp/mamoru/jinsei>



こころつながる 作品展

～私のお気に入り、私の日常、ワタシの気持ち～

2024(令和6)年11月12日～11月21日開催



参加支援部・自立支援部の事業で関わりのある、社会的なつながりが希薄で孤立している方や障害のある方が参加できる作品展を開催しました。それぞれの「お気に入り」「日常」「気持ち」をテーマに、“好き”や“得意”を活かした、たくさんの素敵な作品が集まりました。

作品出展者の声



作品名『夏雲の薄明光線』

● ヤマイヌさんの声

恥ずかしがり屋なので、本名を出さなくても作品を見られる機会があることは嬉しいです。参加することで、作品展がにぎやかになるといいなと思い出展しています。



作品名『花火』

● 山元花火さんの声

布と糸の色を選んだり、花火の模様を考えたり刺繍も難しかったけど、作品展で偶然、手伝ってくれたヘルパーさんと会えて、作品と一緒に写真を撮ってくれたり、後日、フォトフレームに入れてプレゼントしてくれてとても嬉しかったです。

来場者の声

来場者の方々から
たくさんの感想が集まりました。



- みなさんのみている世界、つくる世界、ステキでほっこりしました! いやしをありがとう♡
- こんな多才な方々が生きづらい世の中はおかしい。
- どの作品も素敵で、どんな方がつくられたのかな…想像しつつ見学させていただきました。来年も楽しみにしています。

昨年より多くの方々から作品の応募があり、たくさんの来場者に楽しんでいただくことができました。今後も発信する喜びや人とのつながりを感じられる「多様な参加の形」の実現を目指していきたいと思っています。

京(今日)から始めるいきいき筋力トレーニング 「いきいき筋トレ」ってなあに？

特別な道具を使わずに、自分の体重を使って手軽にできる運動です。運動器(骨・関節・筋肉・神経等)の障害により、「立つ」「歩く」といった移動機能が低下し、要介護や寝たきりになるリスクが高い状態をロコモティブシンドローム(ロコモ)と呼びます。「いきいき筋トレ」は膝痛や腰痛を予防しながら、ロコモ予防に必要な、筋力やバランス能力、歩行能力をトレーニングし、健康寿命を延ばすことや、運動不足の解消により、生活習慣病を予防するための運動プログラムです。

「いきいき筋トレボランティア」
ってどんな活動してるの？

「いきいき筋トレ」について学習し、京都市内の老人福祉センターや各学区の健康すこやか学級、公園、高齢者施設などで普及推進活動に積極的に取り組んでいます。
現在約400名が活動しています。

いきいき筋トレボランティアの声

一人ひとりを十分に観察し、無理なくその日の体調に合わせて運動していただくようにしています。

年齢を重ねても、楽しく運動を継続することが大切!

健康寿命延伸のカギは筋力。筋トレの大切さを広めたい!

参加者に笑顔をもらって、楽しく活動しています。

筋トレ教室による社会参加が、健康なコミュニティづくりに貢献しています。

元気に90歳を迎えられた方もおられます。「しっかり歩くことができるのも、教室に参加しているから」と言っていただき、とてもうれしいです!



洛楽会(左京区)



参加者の声

「運動する」ということが一番の目的ではありませんが、みんなの交流の場にもなっています。これからもできるだけ長く続けたいです。

はじめは渋々参加していましたが、教室で運動すると体調がよくなり、参加してよかったと思います。今では教室で習った運動を家でも続けています。



七三学区朝の健康体操(石ヶ坪公園)



宝ヶ池いきいき筋トレ塾(宝ヶ池公園)

「いきいき筋トレボランティアを活用したい」「いきいき筋トレボランティアになって活動したい」など

ホームページ

お問い合わせは京都市長寿すこやかセンター(いきいき筋トレボランティア事務局)まで

電話：075-354-8741 メール：sukoyaka.info@hitomachi-kyoto.jp



「認知症の人とともにできることを考えよう」

メッセージボードについて

認知症は、誰もがなりうるものであり、多くの人にとって身近なものになっています。認知症になってからも、地域で自分らしく暮らし続けるために、一人ひとりが望むことを、地域の誰もが自分ごとと捉え、ともに希望を持って暮らしていく地域共生のまちづくりが全国各地で広がってきています。

京都市社会福祉協議会では、kyotoところつながるプロジェクトの趣旨である「すべての人が安心して暮らせる地域づくり」に基づき、今年度の認知症月間の取組として、各事業等に関わる認知症の人や家族とともに、“認知症の人の思いを聴く”メッセージボードづくりに全職員で取り組みました。



9月認知症月間について

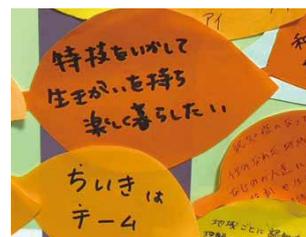
1994年「国際アルツハイマー病協会」が世界保健機関（WHO）と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定。現在、日本では、2023年6月成立した「共生社会の実現を推進するための認知症基本法（通称：認知症基本法）」において9月を「認知症月間」、9月21日を「認知症の日」と定め、行政機関を含め、より公的な取組として認知症理解の普及啓発が進められることが決まった。

当事者のメッセージから

- 認知症になっても私らしく生きていきたい!
- できること、まだあるよ、手伝わせてほしい。
- 認知症なんか、怖くない
- 私を理解してくれる人、優しく寄り添ってくれる人がたくさんいること。
- 特別扱いせず、普通に接してほしい。

集まった
 メッセージカード

1,272枚



認知症施策推進 基本計画

新しい認知症観

認知症に誰もがなりうることを前提に
 住み慣れた地域で希望を持って生きることができる

4つの重点目標

国民の
 理解

本人の
 意思尊重

地域での
 安心な暮らし

新たな知見・
 技術の活用

“効果を評価するための指標を設け立案の見直しを行うことも重要”

「京都市認知症施策推進計画」は認知症基本法に基づく「第9期 京都市民長寿すこやかプラン」において策定されています。

今年度取りまとめられた認知症基本計画では、認知症になっても支えられるだけでなく、希望をもって生きられる社会を実現するという「新しい認知症観」が示されています。

京都市社会福祉協議会においても、「新しい認知症観」に立った取組を、各事業に関わる認知症の人や家族とともに進めていきます。



福祉事業を始めるなら

賠償責任保険は必須です!

福祉事業者総合補償制度

「まごころワイド」をおすすめします。

充実の賠償責任補償制度、
 安価な傷害見舞金補償制度など
 必要なプランを組み合わせでご加入いただけます。

株式会社 **エスアールエム** 専用TEL **075-255-0883**

サイバー攻撃への備えは万全ですか?

損害賠償金の負担や対応費用の支出など
 経済的な損害への備えのみならず、
 的確な対応を行うための体制整備も不可欠です。

三井住友海上の

「サイバープロテクター」がお役に立ちます!

※お近くの保険代理店へご相談ください。MS&A 三井住友海上

日常生活自立支援事業

生活支援員募集中!

日常生活自立支援事業とは

福祉サービスの利用や家賃・公共料金などの支払い、生活費などを計画的に使うことに不安のある方に、住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために福祉サービス利用や日常的な金銭管理についてお手伝いを行う事業です。

やってみませんか「生活支援員」

京都市社会福祉協議会では、利用者の地域生活を支援する担い手として生活支援員を募集しています。あなたも、高齢者や障害のある方が、地域で安心して暮らしていくための支援活動を始めてみませんか？

生活支援員として活動するためには、養成研修の受講が必要です。京都市社会福祉協議会では、定期的に生活支援員の養成研修を開催しています。

生活支援員の活動や養成研修の開催予定等につきましては、お気軽に右記までお問い合わせください。



申込・お問い合わせ先
自立支援部
電話：075-354-8734

ホームページ



施設・団体等での
ボランティア受入
担当の方へ!

▶活用できます!

ボランティア活動の
基礎が学べる

Let'sボランティア! ボランティア入門講座

「ボランティアしたい!」という人がやってきましたら、施設・団体等でのオリエンテーションと併せて、「Let'sボランティア! ボランティア入門講座」の受講を勧めませんか。

「Let'sボランティア!ボランティア入門講座」の内容

▶ ボランティア活動の基礎が学べる!

活動先のルールを守って、対等な立場で、仲間といっしょに活動する大切さを学びます。

▶ 楽しさ・やりがいを知ることができる!

ボランティア団体で活動している人から、やりがい・喜びなどを聞くことで、活動へのモチベーションアップにつながります。

開催日時

- **ゲスト** 認定NPO法人アンビシャス
会場開催 2月25日(火) 14:00~15:00
YouTube配信 2月26日(水)~3月31日(月)
- **ゲスト** 京都YMCA こおろぎ
会場開催 4月25日(金) 14:00~15:00
YouTube配信 4月30日(水)~5月31日(土)

申込先

<https://forms.gle/Rro2NREHVL76B7oZ6>
ボランティアしたい人から個別にお申込みいただくよう、ご案内ください。施設・団体等で集まって、配信動画を上映したい場合はご相談ください。

申込先



ホームページ



申込・お問い合わせ先 京都市福祉ボランティアセンター 電話：075-354-8735

メガネのお悩み何でもご相談ください

「手持ちのメガネがぼやけて見えにくい」、「パソコン、スマホを使うと目が疲れる」、「紫外線が心配」、「メガネがすぐずれてしまう」など、何でもご相談ください。様々な用途に合わせたレンズ・フレームをご提案いたします。

定番のセット商品も
あります!

—————メガネセット (レンズ付き)—————

近視 遠視 乱視 老視 **¥5,500**より

—————両用メガネセット (レンズ付き)—————

遠近 中近 近々 **¥11,000**より

●営業時間 全店10:00~19:00【定休日:水曜日 ※不定休あり】 @ogiopticart

北大路店
075-417-3154
堀川北大路西へ100m

中立売店
075-441-3571
大宮中立売西へ50m

円町店
075-803-2880
西大路太子道バス停前

大宮高辻店
075-803-1722
大宮高辻西へ100m

東山二条店
075-762-1115
東山二条西へ100m

Optic art Ogi
オプティックアート オギ

※各種クレジットカードご利用頂けます。
※福祉眼鏡取扱

<https://www.oa-ogi.jp>

オプティックアート

検索

辰巳児童館の 一押し事業



辰巳児童館には、各種団体から御協力いただいている運営協力会をはじめ、地域の方々にお世話になりながら活動している「畑クラブ」があります。

この「畑クラブ」には、何よりも地域の方々子どもたちに対する深い愛情を感じさせられる毎日です。「収穫の時の子どもたちの笑顔が見たいから」という思いで、時間と労力を畑に注いでくださっており、玉ねぎ、ジャガイモ、きゅうり、青首大根、聖護院大根等の色々な野菜を子どもたちと一緒に育てていただいています。

収穫した野菜を子どもが食べて、保護者の方から、「玉ねぎは嫌いでも今まで食べなかったのですが、自分が収穫したことで、進んで食べてくれました!」という嬉しいお言葉や、「僕はきゅうり嫌いだけど、ママが好きだしもらってかえる」と言い、家の人を思い浮かべながら収穫する嬉しい姿がありました。

ある日、1年生と2年生とで畑にきゅうりの収穫に行くと、畑での約束事を教えている2年生がいました。また 自分の分が収穫できた後、1年生の収穫を手伝っている心あたかな姿もみられました。このような素敵なお兄ちゃん、お姉ちゃんの行動を通して立派に大きく成長していくのだと実感させられることがたくさんありました。

それも、地域の方がサツマイモ畑の枯れてしまった苗をそっと元気な苗に植え替えていただいたり、種まきをしたインゲン豆がなかなか発芽しなかったのですが、ある日突然、元気な苗が植えられていたり、早朝から毎日水やりをしていただいていたいたり、という陰ながらのサポートがあつてのことであり、「畑クラブ」を通じて人も野菜も育てていただいていると感じています。

これからも、地域の方々のあたたかい力をお借りしつつ、色々なものを育てていきたいと考えています。



マンション管理でお困りの方、 なんでもご相談ください。

マンション管理組合が「主体的に良い管理ができる」ため、サポートいたします。

■管理組合運営サポート

理事会運営サポート 委託費の見直し 規約のチェック 滞納処理 紛争解決 etc.

■建築コンサルタント

大規模修繕工事コンサル 長期修繕計画作成 調査診断 建築顧問派遣 造園・外構 etc.

特定非営利活動法人
MSnet マンションサポートネット

■お電話でのお問い合わせ・ご相談

☎075-722-1510

受付/9:00~18:00(平日)

ぜひホームページを
ご覧ください。
<https://msnet.or.jp>



新型コロナウイルス特例貸付の返済にお困りの方へ

京都市社会福祉協議会では、特例貸付を借受された方(世帯)で今もなお生活状況が厳しく、貸付金の返済が難しい方(世帯)等を対象に、個々の状況に応じた相談窓口を開設しています。

- 毎月の返済額をさらに分割させる相談(分割返済)
- 返済開始を遅らせる(償還猶予)等に関する相談
- ご本人、ご世帯の生活課題に応じた相談
- 他の借金があって困っている方などの法律相談
(弁護士相談をご案内するもので、民事法律扶助制度をご案内できる場合あり) 等



相談員が丁寧にお聴きし、お悩み・お困りごとの解決に向けて、相談支援を行います。一人で悩まず、お困りになっていること、ご不安に感じていること等、まずは相談窓口までお気軽にご相談ください。

京都市社会福祉協議会 特例貸付償還猶予等にかかる相談窓口

TEL:075-708-3357 (平日9:00~16:00)

※聴覚障害のある方は FAX:075-708-8535 をご利用ください。

返済が免除される制度もあります。

借受人と世帯主が住民税非課税、借受人世帯が借入終了後から生活保護を受給中、借受人が障害者手帳(精神保健福祉手帳1級、身体障害者手帳1級または2級、療育手帳Aのいずれか)の交付を受けている場合など、貸付金の全部又は一部が免除される制度があります。(償還免除は、借受人からの申請に基づき、京都府社会福祉協議会の審査により、残債(未返済の残額)の免除が決定されるものです。)

免除の要件等に関して、詳しくは、京都府社会福祉協議会から送付された案内や、ホームページ等をご確認いただくか、下記のコールセンターまでお問い合わせください。

京都府社会福祉協議会
特例貸付償還担当コールセンター

TEL:050-2018-6625 (平日9:00~17:00)

京都府社協ホームページ



社会福祉施設などで働く支援者の皆様へ
京都府からお知らせです。

ヤングケアラーとは…

- 家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者を指します。
- 京都府ヤングケアラー総合支援センターでは、支援者の皆様に研修講師やアドバイザー派遣を行っています。

研修講師派遣



アドバイザー派遣



ヤングケアラーの方、元ヤングケアラーの方、
家族や支援者の方、どなたでも相談できます。

京都府ヤングケアラー総合支援センター

TEL:075-662-2840

MAIL:ycarer@pref.kyoto.lg.jp

ホーム
ページ



相談時間:月~土曜日 10:00~18:00 ※LINE相談は月~金曜日です
(祝日、12月29日~1月3日を除く)

ヤングケアラーと思われる子ども・若者を見かけたら
相談できる窓口があることを伝えてください。

LINE相談



オンラインコミュニティ
『いろはのなかまたち』





あなたの「学びたい」をサポート

福祉の研修情報ネット

アクセスはこちらから

みやこけんしゅう



http://www.miyako-kenshu-net.jp

福祉のことを学びたい市民の方、ボランティア活動をしている方、福祉の仕事に携わる方、そんな皆様に役立つ研修や講座の情報(66団体・機関が主催者として登録)を掲載しています。ぜひ、ご利用ください!

「京・福祉の研修情報ネット」でできること

研修情報 検索・閲覧

対象者、キーワード、分野、主催者などの条件で検索!!

らくらく受講申込み

▶ **申し込む** をクリック!

(一部研修を除く)*

メールマガジンの配信

▶ **メールマガジン申し込み** をクリック!

最新情報をお届けします。

*省資源、事務効率化、個人情報保護(FAX誤送信の防止)等の観点から、受講申込みについては、できる限り当サイト申込フォームの利用にご協力ください。



お問い合わせ先 京都市社会福祉協議会 社会福祉研修・介護実習普及センター TEL 075-354-8771

ご寄付のお礼 (令和6年1月~令和6年12月)

貴重なご厚志ありがとうございました。(五十音順、敬称略)

一般社団法人生命保険協会 京都府協会
井本 剛司
宇治ライオンズクラブ
近江八幡ライオンズクラブ
大棚 勝之
大谷 竜也
大津ライオンズクラブ
檀原ライオンズクラブ
株式会社 SSA (真松庵)
株式会社エスケーエレクトロニクス
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
大阪事務所
株式会社ハウスバンクインターナショナル
株式会社ホテルプリンセス京都
京セラ株式会社 本社
京セラ株式会社 伏見事業所
京セラ株式会社 従業員一同
京セラ労働組合 京都支部
京都葵ライオンズクラブ

京都乙訓ライオンズクラブ
京都桂ライオンズクラブ
京都賀茂ライオンズクラブ
京都鴨川ライオンズクラブ
京都京洛ライオンズクラブ
京都グレースライオンズクラブ
京都紫明ライオンズクラブ
京都醍醐ライオンズクラブ
京都橘ライオンズクラブ
京都チェリーライオンズクラブ
京都天神川ライオンズクラブ
京都鳥羽ライオンズクラブ
京都錦ライオンズクラブ
京都東ライオンズクラブ
京都堀川ライオンズクラブ
京都南ライオンズクラブ
京都むらさきライオンズクラブ
京都やわたライオンズクラブ
京都淀ライオンズクラブ

京都洛翠ライオンズクラブ
京都洛東ライオンズクラブ
京都洛北ライオンズクラブ
京都洛陽ライオンズクラブ
公益財団法人京遊連社会福祉基金
白取 耕一郎
長石 茂克 ・ 片山 靖幸
名和野 英司
西村 正憲
日野ライオンズクラブ
弁護士 佐々木 真一郎
舞鶴ライオンズクラブ
山城ライオンズクラブ
大和高田ライオンズクラブ
有限会社萬善
劉 育銓

※その他複数の匿名の方からもいただいています。

福祉のまちづくり 192号 2025年2月1日発行

発行/社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

TEL. 075-354-8731 FAX. 075-354-8736

ホームページで京都市社協の活動を映像でご覧いただけます。
携帯電話でも右のQRコードから簡単アクセス!



京都市社協



京都市社会福祉協議会では、京都市における環境負荷の管理・低減の規格であるKESステップ2を認証取得し、環境負荷軽減に努めています。



この広報誌は一部共同募金の配分金で発行しています。



〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
(河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」

【発行人】高屋宏章 【編集人】芳賀正昭 【編集協力】IG株式会社